

## 工学研究科 博士前期課程 機械工学専攻

### (1)大講座

高性能化、高機能化、高知能化された機械を、省エネルギー、環境汚染低減を実現しながら、しかも短期間に効率よく設計し製造するという、機械工学への期待は大きく、課せられた課題は厳しい。

このような状況をふまえ、本専攻では「材料機能工学」、「熱流体工学」、「知的制御システム工学」、「機械システム工学」の大講座を設定し、各講座協力して、課せられた課題に取り組む。

大講座名	内容	教育・研究分野	担当教員
材料機能工学	時代のニーズに応える高性能な機械を実現するため、材料の高機能化や加工性の飛躍的な向上が強く要請されている。この講座では、材料強度、加工プロセス、耐環境性、機能材料、マイクロ・ナノテクノロジー、トライボロジーなどの研究と教育を行う。	材料力学 材料工学 表面工学 マイクロ・ナノ工学 生産加工学	高木 誠、松室 昭仁、 田中 浩、神崎 昌郎、 松井 良介、武田 亘平
熱流体工学	省エネルギー、環境汚染低減などの観点から、熱と流体に関する基礎的・応用的研究が強く要請されている。この講座では、燃烧、伝熱、流れ、エネルギー変換などの研究と教育を行う。	熱工学 流体工学 エネルギー工学	櫛田玄一郎、江上 泰広、 牧野 敦、北川 一敬、 中山 雄行
知的制御システム工学	健康・安全・快適な人間生活の実現のため、知能を備えた高度な機械システムの実現が強く要請されている。この講座では、ロボット、センサ、アクチュエータ、バイオメカニクス、バーチャルリアリティなどの研究と教育を行う。	制御工学 システム制御 ロボット工学	内田 敬久、奥川 雅之、 山田 章、日比野良一、 香川 高弘
機械システム工学	機械を高精度かつ効率よく設計し製造するため、要素技術とシステム化技術の統合的発展が強く要請されている。この講座では、設計法、CAD/CAM/CAE、機械要素、応力解析、振動解析、音響解析、バイオエンジニアリング、自動車工学、航空宇宙工学などの研究と教育を行う。	機械要素 設計工学 設計生産システム 自動車工学 航空宇宙工学	神谷 恵輔、谷本 隆一、 西島 義明、渡邊 泰秀、 石黒満津夫、原田 祐志、

## (2) 科目一覧

	科目 コード	科 目 名	単位数		毎週授業時間数				備 考	教職科目
			必修	選択	1年次		2年次			
					前	後	前	後		工業
専攻共通講義	P72a1	機械工学基礎論Ⅰ		1	隔週1		隔週1			○
	P72a2	機械工学基礎論Ⅱ		1	隔週1		隔週1			○
	P72a3	機械工学基礎論Ⅲ		1		隔週1		隔週1		○
	P7292	機械工学基礎論Ⅳ		1		隔週1		隔週1		○
	P7293	機械工学特別講義Ⅰ		1	隔週1		隔週1			○
	P7294	機械工学特別講義Ⅱ		1		隔週1		隔週1		○
		計		0	6	修了要件4単位以上				
特 論	P7213	材料力学特論		2	1		1			○
	P72a4	材料工学特論		2	1		1			○
	P7295	生産工学特論		2		1		1		○
	P7253	設計工学特論		2		1		1		○
	P7285	マイクロ・ナノ工学特論		2	1		1			○
	P7216	熱工学特論		2	1		1			○
	P7223	伝熱工学特論		2	1		1			○
	P7221	流体力学特論		2	1		1			○
	P7287	圧縮性流体力学特論		2	1		1			○
	P7296	応用連続体力学特論		2		1		1		○
	P7217	制御工学特論		2	1		1			○
	P7246	計測工学特論		2	1		1			○
	P7255	ロボット工学特論		2	1		1			○
	P7288	メカトロニクス工学特論		2	1		1			○
	P7289	バイオエンジニアリング特論		2	1		1			○
	P7225	機械力学特論		2	1		1			○
	P7297	計算力学特論		2		1		1		○
	P7274	自動車工学特論		2		1		1		○
	P7272	エネルギー変換工学特論		2	1		1			○
	P7298	航空工学特論		2	1		1			○
P7299	宇宙工学特論		2		1		1		○	
P72a5	技術者倫理特論		2		1		1		○	
P72a6	機械工学特論		2	1		1			○	
	計		0	46	修了要件14単位以上					
演 習	P7260	材料機能工学演習		6			通年			○
	P7261	熱流体工学演習		6			通年			○
	P7262	知的制御システム工学演習		6			通年			○
	P7263	機械システム工学演習		6			通年			○
		計		0	24	修了要件6単位				
特別 研究	P7264	材料機能工学特別研究		6			通年			
	P7265	熱流体工学特別研究		6			通年			
	P7266	知的制御システム工学特別研究		6			通年			
	P7267	機械システム工学特別研究		6			通年			
		計		0	24	修了要件6単位				

履修期は基本的な開講学年学期とし変更する場合がある。  
基本的に1年次及び2年次の合同授業とする。

## (3) 履修方法

- ・ 演習及び特別研究は、所属する大講座の科目を修得してください。
- ・ 演習及び特別研究は、2年間継続して、各6単位修得するものとします。
- ・ 指導教授が適当と認められた時は、他研究科、他専攻又は学部の授業科目を履修することができます。これにより取得した単位は4単位以内に限り、修了に必要な所定の単位に充当することができます。

## (4) 修了要件

- ・ 博士前期課程に2年以上在学していること。
- ・ 所定の単位を修得していること。
- ・ 必要な研究指導を受けていること。
- ・ 修士論文の審査及び試験に合格していること。
- ・ 博士前期課程の在学期間に関しては、大学院において優れた業績をあげたと認められた者については、大学院に1年以上在学すれば足るものとします。
- ・ 当該博士前期課程の目的に応じ適当と認めるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができるものとします。

## 【所定の単位】

専攻共通講義	4単位 以上
特論	14単位 以上
演習	6単位
特別研究	6単位
合計	30単位 以上